

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第88回理事会議事録

日 時:2025年7月11日(金) 13:00~15:00 によるオンライン開催

出席者:米田 光宏、加藤 元博、盛武 浩、家原 知子、大植 孝治、木下 義晶、富澤 大輔、
真部 淳、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之、上原 秀一郎、大平 美紀、
櫻井 英幸、後藤 裕明、滝田 順子、竹之内 直子、野上 恵嗣(以上理事)
多賀 崇、滝 智彦(以上監事)
田尻 達郎(第67回学術集会長)
松本 公一(第68回学術集会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中18名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事長 米田光宏は議長となり、審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の上原担当理事より、現在の会員数の報告とともに入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

2. 定款および施行細則変更について

規約委員会の盛武担当理事より、定款施行細則の変更について示され、異議なく承認された。細則に記載される評議員の資格要件に関しては、ケア共創委員会にて別途内規を作成することとなった。

3. 小児がん診療ガイドライン(未刊行)の担当部分の論文化に関する提案書および公表許可申請について

規約委員会の盛武担当理事より、小児がん診療ガイドライン(未刊行)の担当部分の論文化に関する提案書および公表許可申請について示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

4. 医学部生向けスライドについて

教育・研修委員会の大植担当理事より、製薬会社が作成した医学部生向けスライドの最終版が資料に示されたところ異議なく承認された。

5. 教育研修テーマ3か年計画案について

教育・研修委員会の大植担当理事より、教育研修テーマ3か年計画案(教育セミナー、教育セッション)について資料に示されたところ、一部の文言を修正をもって、異議なく承認された。

6. イリノテカン塩酸塩点滴静注液「SUN」2品目に係る供給停止手続きについて

保険診療委員会の後藤担当理事より、イリノテカン塩酸塩点滴静注液「SUN」2品目に係る供給停止手続きについて資料に示され他ところ、異議なく承認された。

7. 注射用フィルデシンの小児がん治療における重要性への意見書について

保険診療委員会の後藤担当理事より、製薬会社より注射用フィルデシンの小児がん治療における重要性への意見書提出についての依頼を受け、議場に諮ったが、十分な議論ができないため、今回は見送りとすることとなった。

8. 神経芽腫用「¹³¹I-MIBG を用いた核医学治療の適正使用マニュアル」作成の WG への推薦について

米田理事長より、神経芽腫用「¹³¹I-MIBG を用いた核医学治療の適正使用マニュアル」作成の WG へ、本会会員の黒田梨絵氏(石川県立中央病院小児内科)が推薦され、異議なく承認された。

7. 委員会英語表記の変更について

社会・広報委員会の余谷担当理事、本会ホームページの委員会英語表記の修正案について示され、次回理事会までに委員会にて検討することとなった。

8. 大阪万博小児がんブース出展について

米田理事長より、大阪万博小児がんブースの JCCG との共同出展について提案され、異議なく承認された。

9. 第 31 回日本緩和医療学会の合同プログラムについて

余谷理事より、余谷理事が会長を務める第 31 回日本緩和医療学会の合同プログラムについて提案され、本会の第 68 回学術集会での合同プログラムとして進めていくことで異議なく承認された。

10. 第 66 回学術集会の余剰金の使用用途について

米田理事長より、前回理事会から引き続きの検討事項として、第 66 回学術集会の余剰金の使用用途について諮られたが、引き続き検討することとなった。

11. ガイドライン紹介記事のアプリ掲載許可について

ガイドライン紹介記事のアプリ掲載許可について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

12. NPO OSCAR との疾患登録事業業務委託の継続について

NPO OSCAR との疾患登録事業業務委託の継続について、契約書、見積書が資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

13. 寄付申し込みについて

個人からの寄付申し込みについて資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

14. 学会誌の査読について

学会誌編集委員会の加藤担当理事より、評議員による学会誌の査読の現状について共有され、今後、査読に関して見直しを行うこととなった。

15. 小児・AYA 世代の腫瘍に対する陽子線治療診療ガイドラインの改訂について

山崎理事より、小児・AYA 世代の腫瘍に対する陽子線治療診療ガイドライン改訂版の作成について提案され、今後放射線腫瘍学会にも打診し、検討を重ねることとなった。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

庶務・財務委員会の上原担当理事より、本会の正会員、評議員、賛助会員等の会員状況について報告された。

2. 学術集会報告

1) 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第67回学術集の田尻会長より、2025 年 11月19日(水)～21日(金)に開催予定の第 67 回学術集会の進捗状況が報告され、プログラムが共有された。

2)第68回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第68回学術集会松本会長より、2026 年 11 月 12 日(木)～14 日(土)に開催予定の第 68 回学術集会の準備状況について報告された。

3.委員会報告

1) 診療ガイドライン委員会報告

盛武担当理事より、軟部腫瘍診療ガイドライン作成に関する協力委員の推薦について依頼があり、本会より学会員 1 名を推薦することが報告された。

2)保険診療委員会報告

後藤担当理事より、ロイナーゼ供給停止に対する学会許可について、また、コスメゲン供給に関する状況などについて共有された。

3)国際委員会報告

真部担当理事より、2025 年 11 月 8 日にソウルで開催の「韓日シンポジウム」について日本からの派遣メンバーが決定したことが報告された。

4)将来計画委員会

米田理事長より、委員会を開催し、常設委員会について、各委員会の業務内容の確認、担当理事制の必要性、定員について検討したことが報告された。

IV.理事長報告

米田理事長より、第58回日本小児内分泌学会学術集会・会長の南谷幹史(帝京大学ちば総合医療センター小児科)より、合同のシンポジウムを企画依頼があり、本会から担当発表者 2 名の推薦を行ったことが報告された。

また、厚生労働省医政局研究開発政策課より各施設宛に通知された「未承認又は適応外の医薬品等を用いる特定臨床研究における保険診療」について共有された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和 7 年7月11日

日本小児血液・がん学会 第88 回理事会

理事長 米田 光宏

監 事 多賀 崇

監 事 滝 智彦